

全労連社会保障闘争本部ニュース

NO.156

全労連社会保障闘争本部発行

2021年4月30日

病床削減推進法案の廃案を いまこそ国民の命を守る 医療従事者の働き方を

現在、参議院厚労委員会で審議されている「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」は、病床削減をした病院に給付金（消費税）を充て、医師の時間外労働の上限を過労死ラインの約2倍（1860時間/年）に認めるものです。この法案は、私たちが取り組んでいる「いのち署名」とは相容れない内容となっています。

今こそ国民の命を守る医療者の働き方を、政府主導で、全力で見直す時期

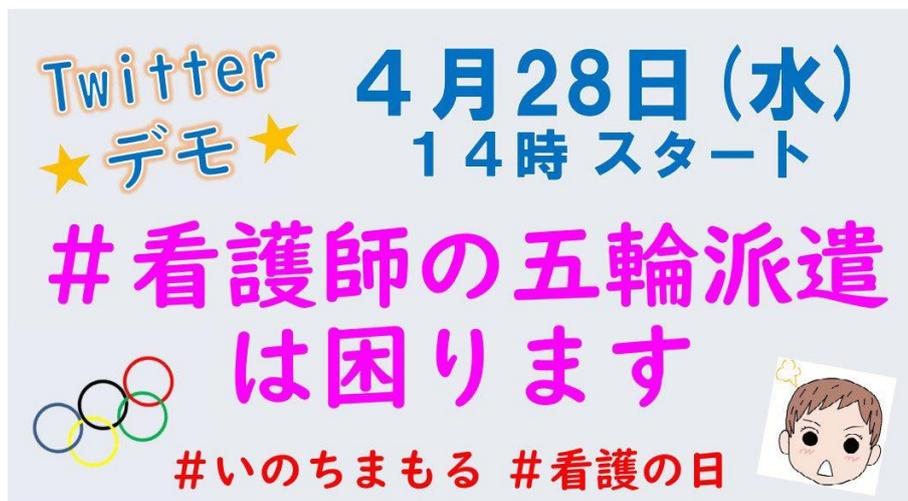
4月27日（火）、参議院厚生労働委員会で、今法案に関する、参考人の意見陳述と質疑が行われました。参考人発言をした「過労死を考える家族の会」の中原のり子さん（薬剤師）は、小児科医の夫が、部長代行就任後、当直回数が増・長時間労働から、自死で命を落としたことを発言。夫は「小児科医は天職」と公言していたのに、「馬車馬のように働かされている。だれにも感謝されていない職業だ」と話していたことと、過労死裁判が11年にも及んだことに触れ、「医師の働き方は理解されていない」と強調しました。また、過労死・自死に至った、看護師・医師の名前一人ひとりを読み上げ、今こそ国民の命を守る医療者の働き方を、政府主導で、全力で見直す時期だ。医療者の聖職者意識、犠牲的精神の上に成り立つ労働環境をこれ以上許してはならない。医療従事者も患者も、共に幸せに働き続けられる真の働き方改革の実現を心から望むとしました。

医師が足りていない・AIを取り入れても最終的に判断するのは人間である医師

今回発言した参考人全員（医師3人、薬剤師1人、放射線技師1人）が、「医師が足りていない」と発言。参考人発言（医師）の中には、増員が解決策ではないと発言する人もいましたが、AIを取り入れることで、能率は上がるかもしれないが、「最終的に判断するのは人間である医師」だとし、医療労働には、「人」が必要であることを認めています。

コロナ禍の今、必要なのは人員拡充と財政支援・病床削減は撤回を

また、参考人からは、医療機関はコロナ禍の中で、収入減になっている。病床削減案があるが、公立・公的医療機関で確実に提供するには、有事に備えた人員体制強化や、災害対策の発想に基づいた人員拡充と財政支援だとし、撤回を求める発言もありました。



Twitter
★デモ★
4月28日(水)
14時スタート

#看護師の五輪派遣 は困ります

#いのちまもる #看護の日



東京オリンピック・パラ組織委員会が日本看護協会に看護師約 500 人の動員を要請したことに対して、4月28日(水)、愛知県医労連が、「#看護師の五輪派遣は困ります」 Twitter デモをスタートしました。

Twitter デモは、「わたしたちは使い捨ての駒ではありません」「コロナ禍で看護師不足の現場にこそ派遣を」「五輪より今はコロナ対策」「医師も看護師も足りてません」「いのちまもる」「国の責任で医師・看護師を増やして」等、既に 24 万を超えています。

Twitter デモを通して、「いのちをまもる」運動を広げましょう。



コロナ危機から
いのちと健康を守る

いのちを守る
署名をひろげよう

「いのち署名」は、4月21日(水)の時点で、累計 34 万 2374 筆となっています。3月4日日の中央行動以降、約 10 万筆増えています。5月20日(木)の中央行動では、全国一律最低賃金 1500 円の実現、公務員賃金大幅引き上げの春闘課題とともに「いのち署名の採択」をめざし署名提出と国会議員要請を行います。

#いのちまもる Twitter キャンペーン第 2 弾!

署名提出に向けて、全労連では、5月9日(日)～16日(日)の「看護週間」を#いのちまもる全国一斉行動ゾーンとして、Twitter デモを行います。いのち署名学習動画も是非ご活用ください。<http://www.zenroren.gr.jp/jp/kurashi/index.html#covid>

介護も同時期に#STOP介護崩壊キャンペーンを行います。プラカードがHPにありますので、ご活用下さい。<http://www.zenroren.gr.jp/jp/kurashi/index.html#kaigo>